

二〇二〇年度口語詩句奨学生推薦について

○林 桂

応募作品一〇作品を一組とした二四編は、作者名を伏せて選に提供されている。しかし、一年を通して既に読み、選考をしてきたものなので、自ずから作者は知られる。そこで、年間を通して読み、推薦してきた経緯を生かすために、一〇作品の中に私が推薦した作品が五作品以上あるものをピックアップするところから始めた。奨学生の推薦には、そうした評価の継続に立つことが相応しいと考えたからである。

一四名が該当した。これを六作品に絞ると、一名となる。うち高校生の年齢の応募者が一人、一〇人が大学生（高校生で応募しているが、四月から大学生になると思われる人を含む）となった。推薦人数については、制限がないということだったので、偶然切りのいい人数になったことを幸いに、この一〇人を大学生の奨学生として推薦することとした。順位付けも無用とのことだったので、更に作品比較で絞り込む必要もなくなった。一〇作品を単位とする年間作品の選考として、これで十分に要件を満たすと考えたからである。高校生は、一人の推薦に、四作品を推薦していた一人を加えて二人とした。年間の選考は大学生とハンディなしで行われてきたので立派な成績と考える。都合、一二人。丁度半数の推薦となった。

自選も力のうちであり、また大変難しい。この作者では、これを忘れがたい秀作と印象に残して作品が案外カットされていることが多く、やや残念な思いをすることもあった。

高校生では、長野小夢（一七歳）さんの応募がなかったのが残念だった。注目していたひとりだった。

●長野小夢（一七歳）埼玉県
イヤホンこんがらがって
唯一無二のかたち

*
「おはよう」の
タイミングのがして
放課後まで引き摺る

*
制服の更衣えを忘れて
独り半袖で授業を受ける
隣のクラスに仲間が一人

推薦の中から各一作品を引いて紹介する。
（大学生）（順不同）

●暮田真名（二三歳）東京都
「ばんぺいゆ」って
唱えてすぐに
夜の底

●藤色（二二歳）京都府
眠れないのなら
おにぎりを握ろう
解けてゆく塩のおと

●サトリ（二三歳）東京都
雑踏の
中には音は
一つもない
自分の匂い
だけするマスク

●燦嗣いとり（二四歳）愛知県
一人分の重さにも優しく沈む
産婦人科のソファ

- 細村星一郎(二〇歳)東京都
海月の子ミサの火種のように浮く
- 浅葱(二〇歳)愛知県
父の人間ドックの結果が届いて
私は少し自立した
- 長谷川柊香(二一歳)宮城県
重力に永久に溺れて蝶も人も
- 村上陽香(一八歳)北海道
大人ぶる十三歳みたいな金柑
- 小島涼我(一八歳)佐賀県
友達と一年先の話する希望に僕は満ちて 新緑
- 合川秋穂(二四歳)京都府
いつせーのーせ
で光になる演技
〈高校生〉(順不同)
- さいう(一六歳)愛知県
眠る君からは
若葉の匂いして
銀河は発火しているようだ
- 桜咲(一六歳)千葉県
真新しいTシャツのような

時間

☆一年間の精進の結果を祝福します。これが今後の活躍に繋がりますように、お祈りいたします。